

佐世保市立吉井南小学校

「凡事徹底～当たり前のことを徹底してやり通す!～」



所在地：佐世保市吉井町前岳2 7 番地3
校長：山口 伸一郎
児童数：203名（11学級）



1 教育目標

「夢・あこがれをもち 笑顔あふれる吉井っ子」の育成

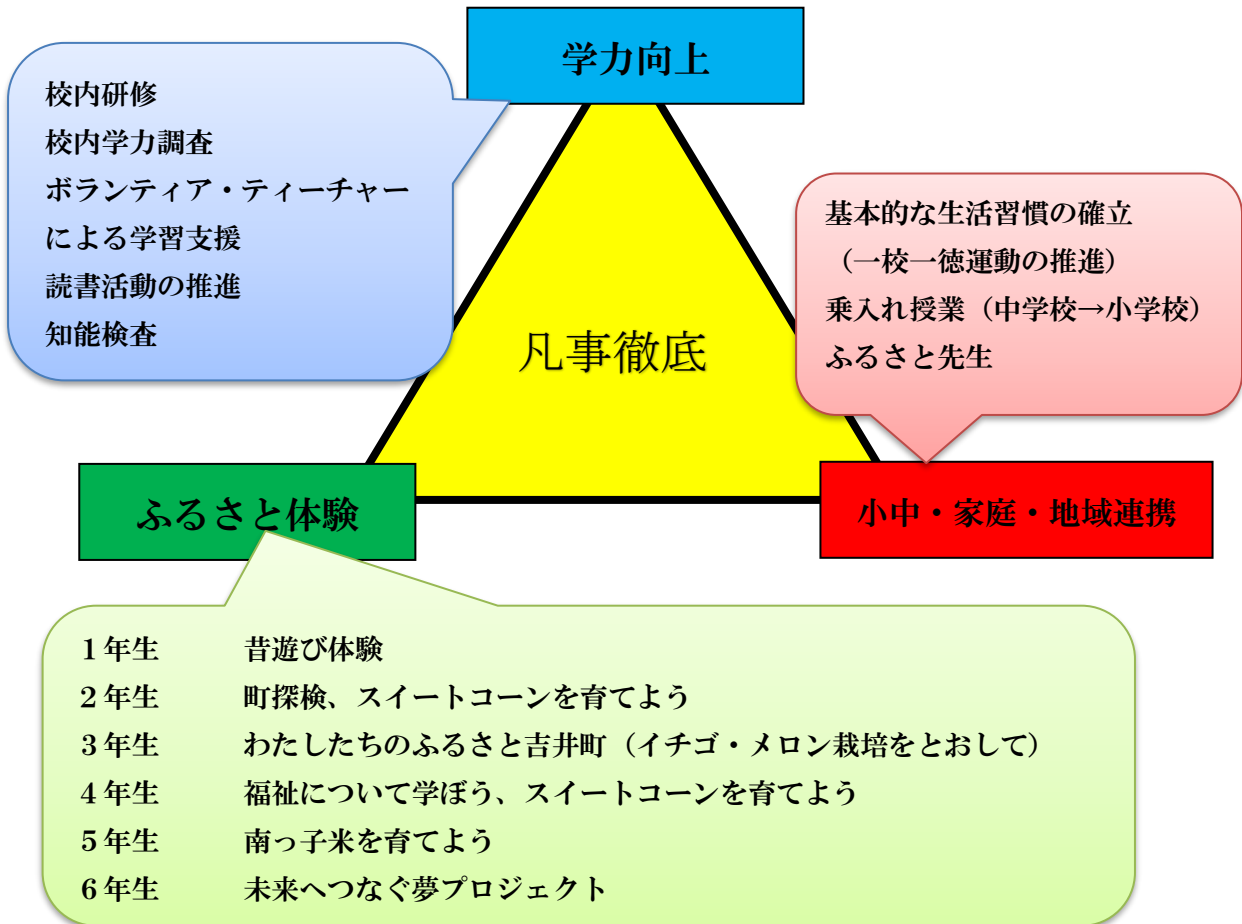
2 めざす児童像

思いやりのある子	進んで学習する子	たくましい子
----------	----------	--------

3 重点目標と具現化の方策

○ 人間関係力	他者を理解し、思いやりのある子どもの育成
○ 考える力	目標をもち、進んで粘り強く学習に取り組む子どもの育成
○ 基礎体力（耐力）	心と身体を鍛え、困難を乗り越えようとする力をもった子どもの育成

4 本校の取組の3つの柱



6 具体的実践

校内学力検査（考える力の育成）

○児童の伸びや課題を検証するために、学力向上の取組の一環として、校内学力検査（12月）を全学年で実施した。教科は国語と算数で、同一集団による昨年度との比較をすることで伸びを確認し、次年度に向けての課題を明らかにした。



校内研修（考える力の育成、人間関係力、基礎体力＜耐力＞）

○研究主題「生き生きと学び、自分の力を伸ばすことができる南っ子の育成」のもと、授業改善を進めた。生活科・総合的な学習の時間に、各教科等の学びを意図的に位置づけることで、子どもたちは意欲的に探究活動に取り組むことができた。



学力向上

成果 授業改善やボランティア・ティーチャーの活用により、算数については、2～6年において、前年度を上回る結果（校内学力調査）となり、基礎学力の定着が図られた。
課題 学力テストの結果を精査し、学力の向上のために、よりきめ細やかな指導の充実を図る。

全学年 ボランティア・ティーチャーの活用（考える力の育成）

○週に2回、ボランティア・ティーチャーが来校し、算数を中心に、子どもたちの学習支援を行った。丸付けや個別のアドバイスなど、担任をサポートしながら活動した。

2年生 知能検査（考える力）

○2年生で知能検査を実施した。検査結果の分析を参考にして、子どもたち一人ひとりの特性を理解し、その子どもに合った生活支援や学習支援を検討し、取り組んだ。

読書活動推進（考える力の育成）

○学校司書と図書担当職員及び図書ボランティアが連携し、読書活動の充実（環境整備、本の修理等）を図った。
○全学年で定期的に、図書ボランティアによる読み語りを行っている。子どもたちの情操を豊かにするとともに、読書の楽しさを伝えた。



1年生 昔遊び体験

(人間関係力・考える力)

○地域の民生委員児童委員の方々を招聘し、昔遊びをとおした交流活動を行った。世代を超えた交流でコミュニケーション能力を養うことができた。



2年生 町探検 (人間関係力・考える力)

○町探検を行い、地域の様々な施設や人々と関わることで、吉井町の様子やよさについて知ることができた。



3年生 わたしたちのふるさと吉井町～イチゴ・メロン栽培をとおして～ (人間関係力・考える力・基礎体力<耐力>)

○吉井町名産のメロンやイチゴ栽培に着目し、ふるさと吉井町についての探求活動を行った。



ふるさと体験学習

成果 学習活動を通して、地域のことをより深く理解し、コミュニケーション能力を高めることができた。

課題 体験活動の内容を精査し、より質の高い学習活動の構築を目指す。

4年生 福祉について学ぼう (人間関係力・考える力・基礎体力<耐力>)

○疑似高齢者体験やアイマスク体験、視覚障がい者の方との交流を通して、身体にハンディキャップを持つ方々への理解と思いやりを深めることができた。



5年生 南っ子米を育てよう (人間関係力・考える力・基礎体力<耐力>)

○種蒔きから収穫までの活動をとおして、生命や食への探求活動を行い、農業の苦勞と喜びを味わうことができた。



6年生 未来へつなぐ夢プロジェクト (人間関係力・考える力・基礎体力<耐力>)

○地域の店舗を借りて、吉井町の物産を中心に販売活動を行った。多くの人との交流をとおして、吉井町のよさを実感した。



6年生「乗入れ授業」(考える力)

○吉井中学校の職員による乗入れ授業を行った。教科は算数と外国語で、中学校から数学と英語の担当職員が来校し、本校6年担任とのチーム・ティーチングで学習指導を行った。学習効果が高まるとともに、子どもたちの、中学校生活への期待を高めることができた。



全学年 ふるさと先生(人間関係力)

○各学年で、年間をとおして計画的に、「ふるさと先生」を導入した。生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域の教育力を活用した教育活動を実践した。コミュニケーション能力を高めるとともに、ふるさと吉井を愛する心を育てることができた。



小中・家庭・地域連携

成果 活動の充実により、学校と家庭、地域が同じ目標を持って歩むことができている。

課題 本校のスローガン「凡事徹底」を継続し、「気持ちのよいあいさつ」のできる子どもを育成する。

4～6年「親子健康学習会」

(人間関係力・基礎体力<耐力>)

○「メディアとの上手な付き合い方」をテーマに、外部講師を招聘して講演会を開催した。4～6年児童及び保護者を対象に行い、SNSの危険性や、上手な利用の仕方について講話をしていただいた。



1年 吉井北小との交流

(人間関係力)

○本校1年生が吉井北小学校の1年生とリモート交流を行った。初めてのリモートによる交流会でしたが、楽しく充実した会となった。



一校一徳運動(人間関係力・基礎体力<耐力>)

○本校の一徳運動のスローガン「笑顔であいさつ おうちで おそとで がっこうで」ののぼりを活用し、子どもたちや保護者、地域への啓発を行っている。

